

Okinoshimaだより



第162回 セーリングフェスタ 5月12日(日)開催のお知らせ



満開だった桜も散り、新緑が芽吹く中、気持ちの良い風が吹く季節になりました。ゴールデンウィークも終わり、心身ともにお疲れの方もいらっしゃると思いますが、久しぶりのレースなので皆様のエントリーをお待ちしております。

日時 5月12日(日)
09:00 艇長会議(クラブハウス前)
10:00 レーススタート(予定)
11:30 タイムリミット(予定)
お申し込み マリーナ事務所まで(TEL・FAX・E-Mail いずれでも結構です。)



マリーナからお知らせとお願い



■5月1日(水)は通常は定休日ですが、連休の中日となりますので、営業いたします。

■マリーナ場内での魚釣りは、マナーを厳守していただくことが前提で、特に禁止はしてありません。

しかし、大変残念なことに4月中旬、契約艇のヨットのフォアスティにメバル仕掛けの釣り糸に餌が着いたまま絡んで放置されていました。

また、同じく4月に餌のエビを桟橋にこぼしたまま放置されているゲストの方がいらっしゃいましたので、その場で注意させていただきました。

特にゲストの方に、マナーを徹底していただきますようお願いいたします。



- ① 桟橋上の置き竿は通行の妨げになります。通行される方の邪魔にならないよう、配慮をお願いします。
- ② 係留艇の近くで釣りをしない。無断で係留艇に上がらない。撒き餌などで汚さない。釣り針を引っ掛けないように。
- ③ 仕掛けや餌、魚の死骸を放置しないでください。(撒き餌の飛散や、釣り針、魚・ヒトデ、漁網などの放置)
- ④ 知人・友人の方など、釣り目的でオーナーさんの同伴無しでのご来場は禁止とさせていただきます。
- ⑤ 特に小さなお子様をお連れの際は、お子様の動向に注意し、桟橋ではライフジャケットの着用をお願いします。

■これから連休に入り、マリーナや船上での飲酒の機会も増えるかと思いますが、くれぐれも陸上・海上共に飲酒運転をしないようご注意ください。

マリーナ桟橋入れ替え工事のお知らせ

マリーナ内の桟橋の老朽化に伴い、桟橋の入れ替え工事を随時実施しております。

入れ替えの際には、艇の一時移動をお願いすることになります。その際は、個別に連絡をさせていただきます。

入れ替え工事中は、桟橋への立ち入りを一時お断りさせていただくこともあります。

会員の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力をお願い致します。





瀬戸内国際芸術祭2019のご案内



瀬戸内国際芸術祭は、「美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻す」をコンセプトに、香川県と岡山県で開催されている芸術祭です。期間を3つに分けて開催されています。

現代美術を中心とした芸術祭ですが、このイベントは島々に会場が分散され、瀬戸内の島々を中心とした各地に展示される美術作品、アーティストや劇団・楽団などによるイベント、地元伝統芸能・祭事と連携したイベントなどで構成されます。

- ◆開催期間 ふれあう春 4月26日(金)～5月26日(日)
- あつまる夏 7月19日(金)～8月25日(日)
- ひろがる秋 9月28日(土)～11月4日(月)

- ◆開催場所 香川県 (直島・豊島・女木島・男木島・小豆島・大島・犬島・紗弥島・高松港周辺・宇野港周辺)

- ◆オフィシャルツアー ガイド付きのチャーター船による島めぐりができます 要予約

- ①豊島・犬島コース¥13,800 ②大島・女木島・男木島コース¥9,800 ③小豆島コース¥9,800
- ④宇野港・犬島コース¥9,800 ⑤紗弥島コース¥9,800 ※すべて高松港発着

- ◆共通乗船券 会期中、会場となる12島のうちの5島を結ぶフェリーが3日間乗り放題となります
- 大人(中学生以上)¥2,500 小人(小学生)¥1,250

- ①高松-直島(宮浦) ②宇野-直島(宮浦) ③宇野-豊島-小豆島 ④高松-女木島-男木島
- ⑤高松-小豆島(土庄) ⑥高松-小豆島(池田) ⑦高松-小豆島(草壁) ⑧高松-宇野

- ◆作品鑑賞パスポート (期間中、いつでも使えます) 16才～18才 ¥2,500 一般 ¥4,000

- ◆スマートフォン公式アプリ(無料)「瀬戸内国際芸術祭」で検索 i-phone i-pad用 (android用は近日公開予定)

- ◆公式ガイドブック A5判、286ページで1冊税込み1200円

全213作品に関する情報をはじめ、現代アートを満喫する“島旅”に役立つ情報が満載の1冊。

香川県・直島や岡山市・犬島、玉野市・宇野港周辺など14の会場別に紹介し、各作品には写真や解説、展示場所を示す地図、会場を結ぶ船の時刻表と、宿泊施設や飲食店の各リストを収録。

「瀬戸内の食がおいしい理由」と題した料理研究者らによる対談のほか、移住者が増えている高松市・男木島や棚田再生に取り組む香川県・豊島といった会場の島々に関するレポートも掲載。

美術出版社発行。



開催の詳細は、下記の主催者ホームページをご覧ください。
各種チケットの購入もできます。

- ◆主催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会
- ◆プロデューサー 福武総一郎
- ◆主催者ホームページ <https://setouchi-artfest.jp/>





フネを蝕む電蝕について

プロペラ以外にも深刻な影響がある電蝕は怖い～

「しばらく乗らないからいいや」などと思って、何年もも船を浮かべたまま放っておくと、どうなるでしょう？
もちろん、船底やプロペラに海洋生物がくっついて動ける状態ではなくなるでしょう。
上架して海洋生物をこそげ落とせば、プロペラシャフトや、プロペラ、ドライブに取り付けてあった亜鉛がすっかり無くなり、よくよく見ればそれらの表面は月のクレーターのように、ブツブツになっている…。プロペラのブレード(羽根)の先端はボロボロ…。危険信号です。

海水には多量の塩が含まれているのはご存知の通り。その海水に金属であるプロペラやシャフトが浸かると電気が流れます。少々難しい話になりますが、性質の違う金属同士を組み合わせると、「電位差」が生じて、それが電池の役目を果たします。電極にはプラス(+)とマイナス(-)があり、電位の低いほうがプラス(+)になります。電位の低い方が腐食する性質があるので、電位の高い方は腐食しません。ましてや船舶は電気が流れやすい海水が相手ですから、なおさら注意が必要です。

電位の高い方から順番に言いますと、1・ステンレス(SUS) 2. 鉛 3・鉄 4・銅 5・アルミ 6・亜鉛 です。

一般的にプロペラシャフトはステンレス、プロペラは銅化合物ですから、電位の低いのはプロペラです。そこにもっと電位の低い亜鉛を取付けると、腐食するのは 1・亜鉛 2・プロペラ(銅化合物)の順番になります。

長い間放っておくと、まず亜鉛が腐食して無くなります。亜鉛が無くなると次はプロペラが腐食しますから、大変な事になってしまうのです。ちょっとしたショックで、プロペラのブレードが折れて無くなったりすると航行に支障をきたし、激しい振動にみまわれて軸系にダメージを与えてしまいます。

その次はと言えば、ほとんどが鉄やアルミで出来ているエンジンが腐食し始めます。海水が淡水(真水)だったらどんなに良い事でしょう。

その他に、プロペラシャフト等に、船内のバッテリーや陸から取り込む100Vの電流が漏れて、僅かでも流れていれば亜鉛が取付けてあったとしても、通常よりかなり早いペースで腐食を起こしてしまいます。

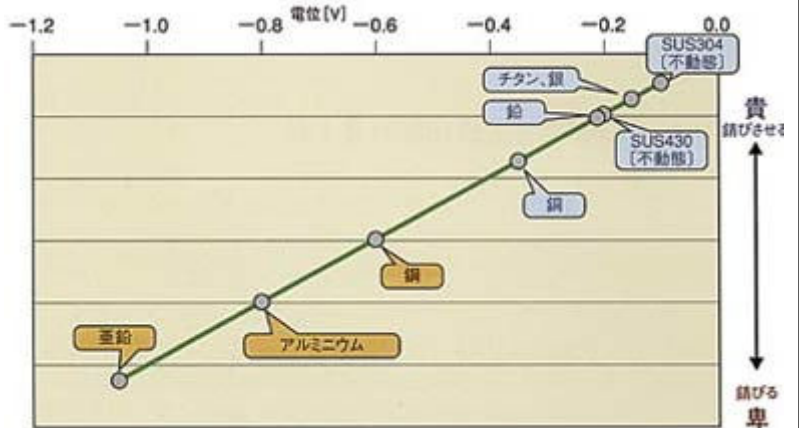
「最近、亜鉛の消耗が激しくなった」、「プロペラやドライブが早いペースで腐食を起こす」などは、ご自身の愛艇や近隣の船舶から電気が漏れている可能性もあります。

特に発電機や陸電をお使いになられている方は、こういった現象が出たら暫くの間使用を休止して様子を見たり、漏電の検査を行うと、原因の究明ができるかもしれません。ヨットの場合、マストやブームにもアルミを使ってあり、異常な電蝕が見浸った場合、異種金属同士の接触以外にも、漏電が原因であることも考えられます。

最近では輸入艇に必ずといってよいほど、「ガルバニックアイソレーター」というものが取り付けられています。通常、陸電のグランド(アース)は船体のキールや船体亜鉛に繋いでありますが、船外から不要な電気が流れ込んでしまうことがあると、船の金属部分の腐食が早まります。これを防止するために、電気を船外に出しても、船内に逆流しないように逆流防止のダイオードを取り付けてやるという方法です。

目に見えない部分でいろんな事が起こるわけですから、想像が付かないとは思いますが、大事に至らないうちに対処するには定期的な点検が必要であることを忘れないで下さい。海は根本的に「過酷」な環境であるといえます。

(propman)





ライフジャケット着用のお願い



既に周知をさせていただいております、平成30年2月から小型船舶の船室外でのライフジャケット着用(桜マークの付いたものに限る)が義務化されました。

屋根と壁に囲まれた船室の中にいる方は適用除外になります。
※屋根だけを有するスペースのような風雨にさらされる場所は適用除外になりません。

※船室の窓や扉、甲板上のハッチが一時的に開いていてもその内部は適用除外になります。

命綱・安全ベルトを着用している方は適用除外になります。

乗船者にライフジャケットを着用させなかった船長(小型船舶操縦者)には違反点が2点付き、船舶免許の再講習を受けなくてはなりません。ただし、違反点数の付与は、平成34年2月1日まで行われませんが、着用による生存率は2倍以上とも言われています。

着用状況については、まだ徹底されている状況ではありません。船外では必ず着用を心がけるようにしてください。

→
桜
マ
ー
ク



株式会社トス 沖野島マリーナ

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江 836-3

Tel 0823 (57) 2450

Fax 0823 (57) 6845

HP <http://www.okinoshima-marina.jp>

Email okinoshima@mbp.sphere.ne.jp

発行責任者：山内貴宏

制作・編集：propman



編集後記

以前、ここでも紹介しました、全盲セーラーの岩本光弘さん(52)が、ヨットでアメリカ西海岸サンディエゴから太平洋横断に挑戦し、4月20日、福島県いわき市の小名浜港に到着されました。

岩本さんは6年前、テレビキャスターの辛坊治郎さん(63)と一緒にヨットで太平洋横断に挑戦し、東日本大震災でヨットを流されたいわき市の高校生らに小型ヨットを贈った縁で、同市の小名浜港からサンディエゴを目指しましたが、宮城県金華山沖でクジラと衝突して遭難。海上自衛隊の救難飛行艇に救助されたという経緯をお持ちです。もちろん、ご存知ない方はいらっやらないと思います。

目の見えるパートナーが風向きなどを伝えながら、全盲の人がヨットを操船するブラインドセーリングでの無寄

港太平洋横断は世界初だそうです。今回は同乗したアメリカ人のダグラス・スミスさん(55)との2人で、55日間で達成。

クラウドファンディングによって集めた資金と多くの協力者の力で実現させたそうです。

6年前には辛坊さんと共に世間からバッシングを受けましたが、諦めることなく着々と計画をされていたところに物凄い執念を感じます。

1回目の遭難のときは、全盲の人を乗せて無謀だと思いました。当時は岩本さんの細かいプロフィールなどの情報は殆ど無かったのですが、今回の報道で色々なことが明らかになってきました。

岩本さんにはカレンさんというアメリカ人の奥様がいらっやいます。高校時代にセーリングをしていたカレンさんは「一緒にセーリングがしたい」と岩本さんを誘い、障害者と健常者が一緒にセーリングを楽しむための活動をする

「ヨットエイド」の存在を知り、本格的にセーリングを開始。「大海原を操船して遠くまで行けるのがヨットの醍醐味」と夢を持ち、2006年には日本視覚障害セーリング協会が組織する日本代表チームのヘルムスマンとして世界選手権に出場。これまでに、日本、アメリカでの外洋レースを含め数多くのレースに参加しているそうで、ヨット歴は20年。ベテランセーラーです。

チャレンジが成功して初めてこういった詳しいプロフィールが紹介されたから、あ〜、そうだったんだ！と考え方も変わりました。

座右の銘は「人が持つ可能性は限りない。自分に制限をかけないで目標に向かっていくことが大切。自分の見方で人生は変わる。ポジティブエナジーを受けることで人は変わる」。太平洋横断おめでとうございます！

(propman)